



浄化槽システム強靱化事業費

平成28年度予算(案)
13百万円 (16百万円)

(※平成28年度より浄化槽情報基盤強化推進事業費から名称変更)

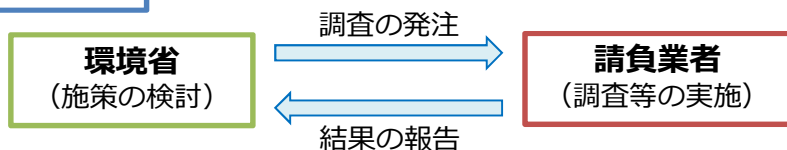
背景・目的

- 汚水処理施設の長期間にわたる機能停止は生活環境の保全及び公衆衛生上避けなければならない事象であるため、国土強靱化の一環として生活排水処理施設の早期復旧体制の確保が求められている。
- 浄化槽は地震等の災害に強く、概ね1週間程度で設置できるため、排水処理効果の発現が早いという特長があり、強靱な生活排水処理システムの構築に貢献する。
- 浄化槽の管理基盤の強靱化を図ることで、浄化槽システム全体での更なる強靱化及び信頼性の向上を図ることを目的とする。

事業概要

- 災害対応力強化に資する浄化槽の活用手法に関する調査検討
～災害時の浄化槽の活用事例等に関する調査を行い、災害対応力強化に資する浄化槽の活用手法に関する検討を行う。
- より効果的な法定検査体制の構築手法の検討
～法定検査の効率化に関する事例収集等を行い、より効果的な法定検査体制の構築に向けた調査検討を行う。
- 浄化槽システムの災害対応力強化に関するモデル事業
～地方自治体を対象とし、浄化槽台帳システムのGIS化等による浄化槽システムの災害対応力強化に向けたモデル事業を行う。

事業スキーム



期待される効果

- 地域の生活排水処理システムの強靱化に資する浄化槽整備の推進
- 浄化槽の管理体制の強靱化
- 生活排水処理システム全体の防災・減災化

災害対応力強化に資する浄化槽の活用手法に関する調査検討

- ・活用事例調査
- ・活用手法の検討等

地域の生活排水処理システムの
強靱化に資する浄化槽整備の推進

活用例)

- ・防災拠点（役所、学校、公民館等）への浄化槽整備
- ・応急仮設住宅への浄化槽整備
- ・マンホールトイレの適用



【応急仮設住宅に設置された浄化槽】

より効果的な法定検査体制の構築手法の検討

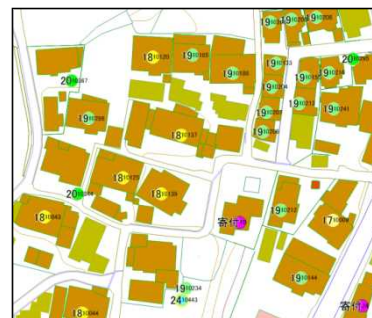
- ・検査の効率化
- ・指導監督体制の強化
- ・検査機関と維持管理業者の連携強化等

浄化槽
管理体制の
強靱化

浄化槽台帳システムの活用

浄化槽システムの災害対応力強化に関するモデル事業

例) 台帳システムへのGIS導入



- ・浄化槽設置状況の視覚化
- ・災害時の被害状況の迅速かつ正確な把握

防災・減災に貢献